

# いはら陽輔

## 活動レポート「今こそ始める和光の未来づくり」

VOL. 28【討議資料】  
2017年4月発行



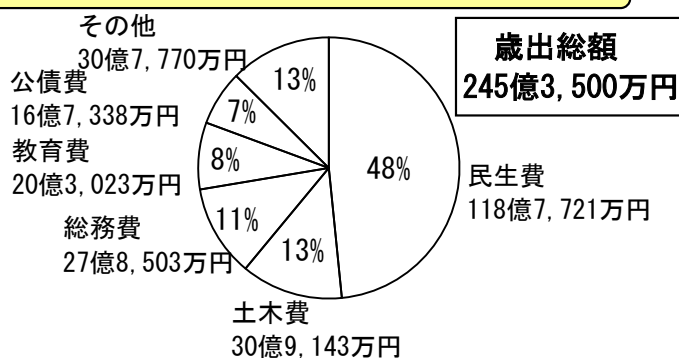
### 平成29年和光市議会3月定例会報告

2月26日～3月24日の期間で3月定例会が行われ、平成29年度の予算が可決されました。一般家計、特別会計の予算額および一般会計予算歳出の主な内訳については以下の通りです。

#### 平成29年度当初予算(単位：千円)

会計名	平成28年度	平成29年度	増減額
一般会計	24,525,000	24,535,000	10,000
国民健康保険	7,842,075	7,976,213	134,138
後期高齢者	653,503	675,565	22,062
介護保険	3,278,529	3,445,272	166,743
駅北口	804,695	1,152,293	347,598
総計	37,103,802	37,784,343	680,541

#### 平成29年度一般会計予算【歳出内訳】



### 平成29年度の主要な施策(市長の施政方針)

#### 都市基盤

- 駅北口土地区画整理事業の推進
- 和光北インター地区の産業拠点化
- 全ての街路灯のLED化

#### 教育・文化・交流

- コミュニティ・スクールの小学校への導入
- 「わこうっこクラブ」を北原小学校でも実施
- 第三中学校給食室空調機設置工事を実施

#### 保健・福祉・医療

- 高齢者介護、障害者福祉、子ども・子育て支援、生活困窮者施策を一元的にマネジメントする「地域包括システムの包括化」の実現を目指す
- 送迎保育ステーションの実施

#### 生活・環境・産業

- 公共施設の老朽化、設備の経年劣化に対応するため、和光市公共施設等総合管理計画に基づきコミュニティ施設の今後の在り方について検討
- 粗大ごみシールによる納付方法の導入

### 3月定例会の主な提出議案(抜粋)

- 第四次和光市総合振興計画基本構想の一部改定  
一般国道254号富士見バイパスの延伸計画の進展にともない、和光北インター地区の東側において沿線地域の一体的な整備に向け、新たな土地区画整理事業の組合設立許可の取得を支援します。
- 和光市まちづくり寄付条例の一部改正  
和光市まちづくり寄付制度は、「寄付者の意向を政策に反映させることにより、寄付を通じた多様な人々の参加による活力あるまちづくりを実現すること」を目的としています。しかし、寄付の用途である寄付事業を指定しない寄付も増えていることから条例の改正を行うものです。  
寄付事業の区分は「都市基盤整備」、「教育・文化・交流」、「保健・福祉・医療」、「生活・環境・産業」、「市民参加・協働・連携」の5つの区分の他、「市長が必要と認める事業」を設けます。
- 平成28年度埼玉県和光市一般会計補正予算(254,594千円減額)
  - ・OA化推進(4,242千円減額)・・・セキュリティ機器による機能が埼玉県の事業によって提供されるため
  - ・権利擁護センター(4,169千円減額)・・・スケジュール見直しのため平成29年度に繰り延べ実施するため
  - ・給食施設整備(100,000千円減額)・・・第二中学校給食室改築工事等の入札差金により減額

# いはら陽輔の一般質問の要旨

## アクティブラーニングへの対応

問: 次期学習指導要領等の改訂案において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を求めている。これはいわゆる「アクティブラーニング」の導入を意味するが、市はどのように対応していくのか伺う。

答: 新学習指導要領に沿った教育計画に移行するために、今後、国や県から提示される資料をもとに、小学校では平成32年度、中学校では平成33年度に向けた移行計画を立てていく。これまで実施してきた学習活動を主体的・対話的で深い学びの視点で各教科ごとの指導目標の見直しを図っていく。

## 理研と県との連携への積極的な関わり

問: 埼玉県では、理研の持つ高度な研究成果を県内の製造業や農業の現場で活用しようという動きがある。この事業に積極的に関わってほしいが、市の見解を伺う。

答: 3月15日に理研セミナーが開催される。「埼玉発Edutechの創造」というテーマで、埼玉県と理研の連携により、AIやIoT技術の活用による人材育成基盤の構築や農業革新に関する課題について取り上げることとされている。今後もセミナーの開催や市内事業者、農業者への事業周知等を通じて取り組みに関わっていきたいと考えている。

## ニホニウム通りの内容及び今後の活用

問: 理研の研究グループが合成した113番元素ニホニウムが国際的に認定されたことを記念して、和光市駅から理研までの歩道をシンボルロード「ニホニウム通り」として整備を行う。この整備内容そして今後どのように活用していくと考えているのか伺う。

答: 整備内容は、理研から寄贈される記念碑を和光市駅南口に設置する。この記念碑脇に元素番号1番の水素の路面版を設置し、これを起点に今年度は30枚程度の路面版の設置、そのほかニホニウム通りの名称版や街路灯に記念フラッグを設置する予定となっている。

今後の活用については、和光市がアジア発の快挙である新元素の認定を受けた世界的な発見の地であることを市内外にPRするとともに、市民がまちへの愛着と誇りを醸成することができるように活用していく。

## 災害時用ドローンの導入

問: ドローン等の無人航空機は災害発生時、スピーディーに現場の視認ができ、また仮に道路が使用できない状況でも上空より情報収集ができるので、その後の適切な行動につなげることができると思うが、市はドローンの導入についてどのように考えているのか。

答: ドローンは山間部等で災害被害状況を早期に確認することに非常に有効な手段であると認識している。また、和光市のような市街地でも建物倒壊等で侵入が困難となるエリアや被害状況の大枠をつかむ点でも有効性があると考えている。しかし、導入効果はまだ不明な点が多いため、国、県、他市の動向を注視し、検討していきたい。

## 介護支援機器・システムの導入

問: 介護ロボット等の介護支援機器やICTを活用した見守り支援システム等は、介護職員の負担軽減及び介護人材不足の解消につながると期待されているが、市はこれらを活用しているのか伺う。

答: 和光市では、グループホームを運営する1事業者が4台の見守り型ロボットを導入している。このロボットは入居者の睡眠状態や動作をリアルタイムで把握でき、状態に変化が生じた場合にはアラームで知らせるなど職員の見守り業務の負担軽減を図るうえ、個別のデータを蓄積できるため適切なケアプランの作成、評価にも効果が得られると考えている。

## 小川町、寄居町、東秩父村との相互交流

問: 和光市と小川町、寄居町、東秩父村との相互交流に関する共同宣言の署名式を行ったが、相互交流の内容について伺う。

答: 交流内容は、和光市のこどもたちを対象とした交流のほか、和光市民まつりやアジアエアガン大会における協力を3町村へ促すなど、お互いのイベントへの出展、さらに文化交流など、それぞれの特色を生かした体験ができる交流を行っていく。

※一般質問の詳細につきましては市議会会議録をご覧ください。

## infomation

### 6月定例会の開催予定

6月 1日(木)	開会、提案説明
6月 8日(木)	議案に対する質疑
6月 9日(金)	総務常任委員会
6月12日(月)	文教常任委員会
6月13日(火)	市政に対する一般質問
6月14日(水)	市政に対する一般質問
6月15日(木)	市政に対する一般質問
6月16日(金)	市政に対する一般質問
6月20日(火)	委員長報告、討論、採決、閉会

※正式な日程は5月30日(火)の議会運営委員会で決定します。

公式ウェブサイトをご覧ください  
<http://iharayosuke.com/>

和光市議会議員

いはら陽輔

今こそ始める 和光の未来づくり



いはら陽輔

検索

発行: 和光市議会議員 いはら 陽輔

〒351-0112 和光市丸山台1-1-10-402

TEL/FAX ▷048-201-0791

E-mail ▷ihara.yosuke@gmail.com

Twitter ▷@iharayosuke